



熊本県学力・学習状況調査の結果から 成果も課題も見られました！ Part 2

前号に引き続き、標記調査の結果についてお伝えします。今回は、主に質問紙調査（アンケート）の結果に触れます。

まずは、共通して良かった項目です。
質問紙調査における「肯定率」（単位：%）

質問項目	1年	2年
	上:本校, 下:県	上:本校, 下:県
勉強やスポーツ、習いごと、趣味などで、今頑張っていることがあるか。	100	100
勉強やスポーツ、習いごと、趣味などで、自分なりに自信をもってしていることがあるか。	94.0	92.1
あんな人になりたい、こんなことがしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標があるか。	76.9	80.0
学校の行事や活動の中で、心に残っていることがあるか。	75.2	72.7
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	84.6	80.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	73.7	73.3
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	92.3	95.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	90.1	90.7
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	100	95.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	87.3	86.8
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	100	90.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	72.6	69.3
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	84.6	90.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	79.8	79.4
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	92.3	95.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	78.5	80.2
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	69.2	75.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	41.2	45.4
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	76.9	85.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	66.9	69.1
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	53.8	80.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	45.7	45.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	69.3	60.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	52.2	44.4
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	53.8	55.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	41.7	43.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	92.3	90.0
近所の人や活動の中で、心に残っていることがあるか。	88.1	86.5

打ち込むものがあり、将来の夢や目標もある生徒の割合が高く、地域とのつながりも高い水準であることが分かりました。

感性が高く、学級の規律も守られていることが分かりました。読書や学習に対しても、積極性が感じられます。

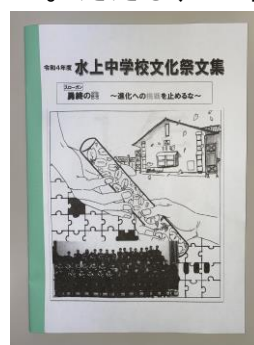
次に、1、2年共通の課題（表は右）です。

家族とのコミュニケーションにおいては、概ね高い水準を示しているが、県の平

質問項目	1年	2年
	上:本校, 下:県	上:本校, 下:県
家の人は、あなたの気持ちを分かってくれているか。	84.6	70.0
家の人は、あなたが努力してがんばったとき、ほめたり認めたりしてくれるか。	87.0	87.3
あなたの気持ちを分かってくれる友だちがいるか。	84.6	85.0
何でも本音で相談できる友だちがいるか。	90.3	90.4
あなたががんばったとき、友だちから、がんばったね、すごいねと、ほめてもらったことがあるか。	84.6	75.0
友だちが喜んでいるときはいっしょに喜び、悲しんでいるときはいっしょに悲しむ、その思いを言葉や体で伝える方か。	91.5	92.4
仲間外れになるのが怖くて、気が進まないのに、友だちの意見に合わせたり、いっしょに行動したりすることがあるか。（「ない」）	76.9	70.0
自分には、いいところがあると思うか。	81.9	83.1
自分には、いいところがあると思うか。	76.9	85.0
自分には、いいところがあると思うか。	90.9	91.0
自分には、いいところがあると思うか。	61.5	70.0
自分には、いいところがあると思うか。	78.5	79.5
自分には、いいところがあると思うか。	61.5	60.0
自分には、いいところがあると思うか。	70.6	72.6
自分には、いいところがあると思うか。	53.8	60.0
自分には、いいところがあると思うか。	64.0	63.6

均と比べると低い結果であったことから、家庭での話題について、学校が更に発信する必要があることが分かりました。また、人数が少ない学級において、友人関係の難しさを感じている生徒の割合が比較的に高いことが分かりました。小さいころからの付き合いだからこその悩みではないでしょうか。

そして、これまでの課題である「自分にはいいところがあると思うか」について、今年度も県平均を下回っていました。自身を「過小評価」する傾向の生徒が多いため、友だちとの距離感等においても、慎重になっているのではないかと思います。つまり、謙虚な生徒の比率が高いのかもしれませんが、2年生につきましては、昨年度（1年時）より微増となりました。



最近、文化祭の文集を発行いたしました。

お互いの良さに気づいてほしいと思い、「友だちの頑張り」を紹介するコーナーを作りましたら、たくさんの生徒が紹介されていま

した。そして、それをきちんと見てくれたところが素晴らしいと感じました。保護者の皆様には是非ご覧いただきたいです。

今回は1、2年共通の成果と課題を取り上げましたが、実態が大きく違う点もあり、それぞれの課題等につきましては、学年ごとに対応していきたいと思